

# 単元名 「ふるさとPR大作戦」

第6学年

## ◆本実践の概要

本単元は、全体計画に定めた探究課題「まちづくりや地域活性化のために取り組んでいる人々や組織」を踏まえて構想した単元である。地域の商店街の活性化を図りながら、まちづくりを進めていることと、地域が抱える人口減少・観光客の減少等の課題とを結び付け、まちづくりに携わる人々の話を聞いたり、自分ができることを考えたりする。単元全体で、まちづくりを通してふるさとを見つめ直し、地域のために進んで行動しようとする態度を育てることをねらったものである。

### 1 単元の目標

人口減少や観光客の減少の問題を抱える地域が活気付くように、地域活性化のための取組を調べたり、情報を発信したりする活動を通して、まちづくりと持続可能な社会との関わりを理解し、持続可能な地域の在り方について考え、地域の一員として進んで行動しようとする。

### 2 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
① 地域のよさを生かしてまちづくりがされていることで持続可能な社会になることを理解している。 ② 活動を通して調べたり、考えたりしたことについて、相手意識や目的意識を明確にしながらまとめている。 ③ まちづくりと持続可能な社会との関わりについての理解は、地域のよさ、人々の思いや取組について、探究的に学習してきたことの成果であること気付いている。	① まちづくりについて、現状から課題をつくり、解決の方法や手順を考え、見通しを持って計画を立てている。 ② 地域活性化を支援する仕組みなどの現状を捉え、課題解決に必要な情報を、手段を選択して多様に収集し、種類に合わせて蓄積している。 ③ 地域活性化に向けて、収集した情報を取捨選択したり、複数の情報や考えを比較したり、関連付けたり、焦点化したりしながら、解決に向けて考えている。 ④ 伝える相手や目的に応じて自分の考えをまとめ、適切な方法で表現している。	① 活動を通して、自分と地域、地域活性化に取り組む人々との関わりを見直そうとしている。 ② 地域の活性化におけた取組を考えたり、実行したりする中で得た知識や友達の考え、地域の方々の考えを生かしながら、協働し課題解決に取り組もうとしている。 ③ 課題解決に向けた自分の取組や状況を振り返り、地域活性化に向けて粘り強く取り組もうとしている。

### 3 単元について

本単元では、ふるさとをよりよいまちにしていくために、自ら設定した課題への解決策を考える活動を通して、地域の一員として自分ができることを考え、地域のために活動を計画し、実行することを目的としている。まず、地域活性化に向けた取組を調べたり、それに携わる人々から話を聞いたりすることで、地域のよさに気付かせるようにしたい。また、友達や地域の方々と地域の現状と今後について話し合い、他者を通して自分の考えを明確にし、視野を広げて考えることができるようにする。さらに、移住希望者や観光客等に興味をもってもらえるよう、情報を発信し、地域の課題解決を目指すとともに、地域への愛着をもたせていきたい。

他教科との関連では、社会科「わたしたちの暮らしを支える政治」で取り上げられている人口減少が公共サービスに及ぼす影響についてや、まちが時代とともに変化していることとを結び付けて学習を進めていく。また、国語科「日本文化を発信しよう」で学習したパンフレットの書き方を生かし、まちの情報の伝え方を工夫していきたい。

#### 4 指導と評価の計画 (全26時間)

小単元名	ねらい・学習活動(抜粋)	評価規準(評価方法)		
		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1～10 地域の現状を調査し、地域活性化に向けた取組を考えよう	<ul style="list-style-type: none"> <li>○オリエンテーション</li> <li>○これまでの地域学習を振り返ったり、まちを見学したり、自分たちのまちのよさや課題について考える。</li> <li>○地域のよさや課題についてアンケート調査を実施する。</li> <li>○地域の現状を調べたり、関係機関から話を聞いたりする。</li> <li>○地域について、調べて分かったことを整理し、現状を明らかにする。</li> <li>○まちのPR大作戦について、学習計画を立てる。</li> </ul>		思①(デジタルポートフォリオ記述・発言内容)	
11～23 地域をPRするパンフレットやポスター等を作成しよう	<ul style="list-style-type: none"> <li>○インターネットや地域の情報誌、地域活性化に尽力している方々へのインタビュー等から、情報を収集する。</li> </ul>	知①(デジタルポートフォリオ記述・発言内容)	思②(デジタルポートフォリオ記述)	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>○これまでに収集した情報を整理・分析する。</li> <li>○グループでパンフレットやポスター等を作成する。</li> <li>○作成したパンフレットやポスター等について、地域活性化に携わる人々と意見交換をし、ニーズに応えたPR内容であるかを考える。</li> </ul>		思③(パンフレット・ポスター等・発言内容・振り返りシート)	態③(デジタルポートフォリオ記述・発言内容)
	<ul style="list-style-type: none"> <li>○完成したパンフレットやポスター等のPR方法を考える。</li> </ul>	知②(デジタルポートフォリオ記述)		態②(デジタルポートフォリオ記述)
24～26 自分たちの取組を振り返り、地域活性化と自分たちの関わりについて考えよう	<ul style="list-style-type: none"> <li>○自分たちの活動を振り返るとともに、地域活性化の取組と自分たちの生活との関わりについて考える。</li> <li>○未来のまちについて、クラスでイメージを共有する。</li> </ul>			態①(デジタルポートフォリオ記述)
	<ul style="list-style-type: none"> <li>○関係機関と協働しながら、地域の活性化に向けたアイデアをまとめる。</li> </ul>	知③(デジタルポートフォリオ記述)	思④(デジタルポートフォリオ記述・発表)	

#### 5 本時の授業(第19時)

##### (1) 本時の目標

地域活性化に携わる人々に見てもらうために、友達と意見交換したことを生かし、パンフレットやポスター等をよりよいものにしようとする事ができる。

##### (2) 本時の評価規準

地域活性化に向けて、収集した情報を取捨選択したり、複数の情報や考えを比較したり、関連付けたり、焦点化したりしながら、よりよいパンフレットやポスターになるように考えている。【思考・判断・表現③】

(3) 本時の実際

過程	主な学習活動と児童の反応	評価と配慮事項
<p>つかむ</p> <p>5分</p>	<p>○本時の課題を確認する。</p> <div data-bbox="240 255 1019 331" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>より分かりやすく情報を発信するために、意見交換会をしよう。</p> </div> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の方々にパンフレットやポスター等を見てもらうための活動であることを伝える。</li> <li>・目的意識と相手意識を考えたパンフレットやポスター等になっているのかという視点をもたせる。</li> </ul>
<p>考える</p> <p>25分</p>	<p>○各グループが作成したパンフレットやポスター等の工夫を発表し、意見交換をする。</p>  <div data-bbox="624 891 1034 1182" style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px;"> <p>分かりやすくするための工夫を考える時間とした。グループによっては、悩んでいることをクラス全体に相談しているところもあった。</p> </div> <p>・班ごと学習支援ソフトを使用し、付箋機能でよいところ(ピンク)と改善点(青色)について意見を出し合う。</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・見やすさや分かりやすさ、自分たちの思いが伝わる内容であるのかを考えさせる。</li> <li>・地域活性化に取り組んでいる人々の思いや願いが反映されているのかを確認する。</li> </ul>
<p>深める</p> <p>10分</p>	<p>○各グループで、アドバイスされたことを生かし、改善点について話し合う。</p> <p>・学習支援ソフトに提出された意見を参考に、よりよいパンフレットやポスターになるように工夫点を出し合う。</p> 	<p>○思考・判断・表現③ (パンフレット・ポスター等・発言内容)</p> <div data-bbox="1050 1854 1449 2056" style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px;"> <p>改善点の付箋から、今後どのような工夫が必要であるかを確認し、次時の見通しをもたせた。</p> </div>

まとめる 5分	○学習を振り返り、今後の学習の見通しをもつ。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;">           振り返りシートより         </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;">             めより分かりやすく情報を発信すために意見交換をしよう              自分は伝わりやすいと書いては表、              友達はどうした方がいいなど伝わりやすさがちがっていたので気づけてよかったです。           </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;">             めより分かりやすく情報を発信するために意見交換をしよう              指ささかいたくせんあったから、根本的な所を              見直して分かりやすいポスターにしたい              プレゼンテーションの準備にしたい              属したい           </div> </div>	・地域の方々に見てもらい、よりよいPRを考えていくことを確認する。
	他者からの評価と自分の評価には差があることに気付いたり、他者を通して自分のパンフレットやポスターを見直そうとしたりすることで、次時への課題を明確にすることができた。	

### 5 実践を振り返って

本実践では、社会科の学習をきっかけに、地域の人口減少問題から少子高齢化が進むと自分たちの社会生活にどのような影響があるのかを考えるようにした。市役所の方に現状を話してもらうことで、この問題に対し、市では子育て世代や移住希望者向けに対策をとっていることを知ることができた。学習後に、児童は「もしかしたら、これらの市の対策があまり伝わっていない現状があるかもしれない」と考えた。児童の中でずれが生じ、このことが興味・関心を高めることになった。そこで、多くの人々に地域のよさを情報発信し、関心をもってもらうことが人口増加につながると仮説を立て、地域のよさを伝える計画を立て始めた。

地域のよさについて、ウェビングやダイヤモンドチャートなどの思考ツールを活用し情報の整理・分析を行った。修学旅行先の鎌倉市と比較することで、自分たちの市には昔の街並みが残っていることや、季節によって自然の楽しみ方があることなどに気付くことができた。視覚的にとらえることで、自分の考えを明確にしていくことにつながっていた。

途中、地域情報雑誌の編集者の方から、分かりやすいパンフレットやポスター作りについて具体的に話をしてもらう機会を設けた。また、移住者から地域のよさを教えてもらい、これまでとは違う見方・考え方ができ、地域のよさを再発見することにつながった。

中間発表会では、友達のアドバイスから「パンフレットやポスターに分かりにくさ」があることに気付いた児童が多く、他者からの評価を取り入れることで、よりよいパンフレットやポスターをつくらうという意識が高められた。また、国語科の学習の「見方・考え方」を働かせながら、他者と協働して問題を解決していこうとする発言や意見も多かった。教師が意図的に、各教科との関連付けを意識することで、児童も自覚的に行おうとするようになった。

グループ学習を進めるときには、目的意識や相手意識をもたせ、話し合いの視点がずれないようにすることも大切である。そして、自分たちのパンフレットやポスターでは「何ができているのか、そしてできていないのか」を理解しながら学習を進められた。授業の終わりには、振り返りを行い、見通しをもたせることで、自分の学習過程や達成状況を把握し、次に何をするのかを明確にしていくことも高い意欲を継続していくためには効果的だった。

